※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「精選　論理国語」　（三省堂）						
副教材等	大学入試　国語頻出問題１２００［五訂版］（いいずな書店） 常用漢字　ダブルクリア　五訂版（尚文出版） プレミアムカラー　国語便覧　改訂版（数研出版）及び　準拠ワーク 速読＋要約＆語彙チェック　１レベル　A 及びB　２レベル　B（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、様々な文章に触れ、読解力を向上させるとともに、自分の思いや考えを的確に伝えるための「話す・聞く・書く」ことを学びます。また言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っていきます。課題に対してまずは自ら考え、積極的に取り組んでください。

2　学習の到達目標

実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。論理的，批判的に考える力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。	多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり，根拠や論拠の吟味を重ねたりして，主張を明確にすること。 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に，必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりすること。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「情報社会」を生きる ［教材］流言とメディア	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b：「読」主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：進んで文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈し、様々な資料を調べて発表したり話し合ったりしようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	言葉を見つめる ［教材］夢は何語で見る？	a：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 b：「書」情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：進んで言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする言葉の働きを理解し、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
二学期	共生社会を創造する ［教材］母親のための酸素マスク	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「書」多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。 c：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題の見通しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、調べたことを整理して自分の考えを発表しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

※令和４年度以降入学生用

三学期	経済について考える ［教材］落語の中の経済学	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b：「書」実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c：進んで論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、学習の見通しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	国際社会を考える ［教材］スポーツとナショナリズム	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「読」人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 c：進んで、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付け、自分の考えを論述しようとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	心と向き合う ［教材］恐怖とは何か	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「読」文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c： 進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習課題に沿って、論理の展開や表現の仕方について多面的・多角的な視点から評価し、文章の内容をもとに自分の考えを論述したり、討論したりしようとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検
	「リスク社会」を生きる ［教材］リスク社会論	a：情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使っている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

※令和４年度以降入学生用

		b：「書」実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 c：進んで情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め、学習の見通しをもって、様々な観点から情報を収集して適切な題材を決め、自分の考えを論述しようとしている。			
	近代･現代社会を考える ［教材］学問のすすめ	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b：「書」情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。 c：進んで文章の構成や展開の仕方について理解を深め、学習の見通しをもって、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら自分の立場や論点を明確にし、自分の考えをまとめて批評し合おうとしている。	記述の点検 定期考査 小テスト	記述の点検 定期考査	記述の点検

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　25~30　）時間

・読むこと　…　（　40~45　）時間